

## 育 Me 科 学習指導案 「不得意を乗り越える」

○ねらい

エゴグラムから自分の得意(長所)、不得意(短所)を把握し、自分の不得意な部分について仲間と意見交流することを通して、克服したり補ったりするための方法をもつことができる。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
事前	<p>○エゴグラムの実施</p> <p>・エゴグラムを実施し、その結果から自分の特性(得意・不得意)を把握させる。併せて、自分の特性からくる日常生活の行動を把握させ、ワークシートに記入させる。</p>	<p>・授業 1 週間前に実施</p>	
	<p>〈教師の例〉(参考)FC の得点が高い「表情豊か⇔気まぐれ」 AC の得点が低い「自主性⇔自分勝手」 (分析)得意「表情豊か、発想が豊富、自主性が高い、楽観性」不得意「気まぐれ、自分勝手と思われる」</p>		
	<p>・授業前に、生徒一人一人の不得意(短所)を把握する。</p>	<p>・授業実施前に分析</p>	
導入	<p>1 あいさつ</p> <p>・前回の学習内容「問題解決のステップ」の確認をペアでする。</p> <p>2 学習内容の理解</p> <p>・教師のエゴグラムの結果から不得意な部分を共有し、どう克服したり補ったりすることができるか交流させる。</p> <p>〈教師の例〉(克服、補填)仲間と共有した自分の考えや発言が変わるときは、一度詫びてから変わった内容を伝える。</p> <p>3 本時のめあての掲示</p> <p>不得意な部分を補う方法を見つけよう。</p>	<p>・プレゼン資料提示</p> <p>・教師の例を扱って考えることで、学習の目的と流れを確認する。</p>	<p>・「わかりやすい伝え方」「非言語的コミュニケーション」を用いてペアで確認する。</p> <p>・「集団の最善意思決定」を用いて、交流する。</p>
展開	<p>4 グループ活動</p> <p>・グループ活動の流れを確認する。(1 グループ4人+教員 1 人)</p> <p>①グループ全員の得意なこと(長所)を交流する。 ※短所だけでは気分の良くない交流になるため、事前にお互いの良さを交流する。</p> <p>②不得意なこと(短所)を共有する。 ※複数ある場合は、仲間に伝えられるものだけ伝える。全てを伝えても、一つだけ選んで伝えても構わない。</p> <p>③1人の不得意なことを補う方法を全員で考える。 ※<sup>1</sup>どの不得意を補うためにアイデアを考えるか明確にする。 ※<sup>2</sup>補う方法が抽象的ではなく具体的なものになるよう話し合う。</p> <p>④ワークシートに記入する。</p>	<p>・事前に把握しておいた生徒の不得意をもとに、話し合いが滞ったときに支援をする。</p> <p>・実体験や生活でみられる行動などとリンクさせて長所と短所について話させたい。</p> <p>(例)私の長所は〇〇だから、日常生活で「～」ができていと思う。 私の短所は〇〇だから、「よく～」がある。</p>	<p>・「集団の最善意思決定」「上手に話を聴こう」を用いて、グループ活動を行う。</p> <p>・短所を共有する際には、そのときの気持ちについても触れたい。</p>
まとめ	<p>6 ふりかえり</p> <p>・振り返りを記入する。</p> <p>【出口での生徒の意識】 「私の不得意なことは～だから、今日グループで考えた方法を毎日の生活の中で意識して生活したい。」</p>	<p>・タブレットで記入する。 QRコードを提示する。</p>	